

委員会報告

総務委員会

委員長 平川 昌宏

会員の皆様におかれましては、平素より当協会の理念にご理解ご賛同いただき、また、その活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。改めまして総務委員会の主だった業務を紹介させていただきます。

当初9月3日に予定され11月13日に変更開催された千葉県震災訓練への参加、協会独自の災害情報伝達訓練また、震災訓練の施工業者、班長による訓練報告、改善を目的とした合同会議の開催、同日には実務者セミナーも開催されました。千葉県建設業団体連合会主催新入社員研修会への参加、協会員の間睦を因る為のゴルフコンペ、忘年会等を開催するなど多岐にわたっております。会員相互の親睦の為にこういった機会を有効に利用していただき、造園業界の益々の発展の為皆様とより親交を深めたいとおもっておりますので、ご参加よろしくお願い致します。

事業委員会

委員長 浮ヶ谷 容徳

令和6年度の事業委員会の活動について、ご報告いたします。

○県との意見交換会について

この事業は、我々造園業界の状況や要望を県の関係部局幹部の皆様へ直接届ける場として毎年開催しています。

本年度は、9月5日に千葉市のホテルプラザ菜の花で、会員皆様から頂きました要望・質問事項をまとめた要望書を元に、協会役員等11名と県からは県土整備部澤局長をはじめ15名の県職員の方に参加していただき、活発で有意義な意見交換の場となりました。

今後も引き続き様々な機会をとらえて、造園業界の発展のために県当局に質問意見を述べて行きたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

○造園課程を置く高等学校との情報交換会

この事業は、将来の業界を担う人材育成を目的として、学校関係者、県当局を交えて毎年行っている情報交換会です。

今年度は、7月29日千葉県建設業センターで、協会役員等9名と県学校関係者、成田西陵・茂原樟陽・我孫子高等技術専門校（教諭）3名と県庁商工労働部雇用労働課及び県土整備部建設・不動産課・教育庁学習指導課の担当職員3名計15名が出席し参加しました。

はじめに協会側から「後継者育成に係る協会の主な事業」の内容について説明を行い、その後学校側から出前授業、校外授業等についての要望、造園会社への就職状況、本年度の求人情報の提供などが出されました。これらの後継者育成に関し幅広い情報交換を行いました。

技術委員会

委員長 川西 正人

○魅力発信講座

当講座は、県内の小学校、中学校、高等学校（造園科のある高校）、サポートステーションにおいて、ものづくりの魅力を教えることで日本の伝統技術伝承を目的としています。

小学生は造園の移植技術を用いた苔玉づくりを体験します。木綿糸を用いて苔を縛る作業では、子どもたちが手先の器用さを磨くとともに、自然素材の扱いに苦戦しながらも植物の感触を楽しんで取り組んでいます。

中学生はテラリウム制作を行います。自分で設計図を描き、その図面に従って小瓶の中に植物や石、動物の模型を配置します。ピンセットを使い細かい作業を行う中で、個々のこだわりが強く、完成までに時間がかかることもありますが、真剣な

表情で取り組んでいます。

高校生は植木の移植技術や剪定講習を通じて、実技に重点を置いた学びを提供しています。座学よりも実技の時間に活気があり、生き生きとした姿が印象的です。

サポートステーションでは、苔玉づくりを体験しています。日頃の就職活動の息抜きとして皆が熱心に取り組んでおり、誰一人として諦めることなく、夢中になって作品作りに励んでいます。

受講者の皆さんは、普段あまり触れることのない植物や土、苔に触れることで、新たな発見や楽しみを見出しています。それぞれが異なる背景や経験を持ちながらも、共同作業を通じてコミュニケーションが生まれ、相互に刺激を与え合う様子が見受けられます。

当講座を通じて、受講者の皆さんが職業を選択する際に、自然の中で緑と触れ合う造園業という職を選択肢の1つにいただければ幸いです。また、今後もこの活動を継続し、さらなる継承を目指していきたいと考えています。最後に、参加者の皆さんの熱意と真剣な取り組みが、この講座の大きな魅力であると感じています。

○ 門松づくり講習会

協会の皆様に、伝統技術の継承として始まった本格的な門松づくり講習会。今までに数多くの協会の皆様が参加していただき、それぞれの会社でも年末に製作しているとの声も聞くようになりました。

今年度も、協会の皆様が講習を通じて作り上げられた門松は、県庁及びこども病院、リハビリステーションセンターに3門の門松を寄贈させていただきました。それぞれの寄贈先において、門松設置の際には温かい喜びの声と感謝の言葉をいただいております。また、一般の方々へのミニ門松づくりは、昨年度同様たくさんの方々に参加していただきました。少しでも多くの方々が伝統文化へ触れる機会を増やしていけるよう、協会の皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

広報委員会

委員長 湯浅 浩一

広報委員会では、ちばの緑の発行を初め協会広報、パンフレット作成及びホームページによる広報活動をしています。また、広報活動の一環として小・中学校への出張授業を委員会より講師を派遣し、造園業に関心を持っていただき、造園の仕事を理解して頂くようにしています。出張授業では、造園業だけで1～2時間の授業になり講師も4人に増やし、公園ができるまでや、女性でも活躍できる仕事内容、日本庭園、インクルーシブル公園、バラの品種改良など造園技術について説明し熱心に聞き入っていました。ちばの緑は、協会事業の取り組みや、参考になることが掲載されています。会員の皆様に事業につながればと思い、そして協会活動や、広報活動でわかりやすく紹介できるよう努めてまいります。お気づきの点や有益な情報などがございましたらどうぞ、お知らせ下さい。

造園技能検定推進委員会

委員長 鈴木 康史

実技試験（製作等作業試験）は令和6年7月27日（土）・28日（日）の2日にわたり千葉県立我孫子テクノスクールで実施しました。1級20名、2級52名の方が受験されました。また、判断等試験（要素）は8月22日（木）に、学科試験は8月18日（日）にちば仕事プラザで実施しました。

真夏の蒸し暑い中で実施されるため受験者には大変な実技試験となってしまいます。試験には制限時間等があり、正確、時間、体力、気力が一つでも欠けると合格出来ない試験です。令和6年度の合格者は1級2名、2級29名が合格されました。

造園技能検定推進委員会では100%の合格者を目指し対策講習会も実施しています。

製作等作業講習会では、技術を持つ講師が受講生に基本から親切丁寧に講習をし、パワーポイントを用いて製作順序や注意点も詳しく教え、指導を行っています。

また、判断等講習会（要素）では、実際に樹木の枝葉を見て試験さながらの講習をしています。

学科講習会では、過去問50年間分を厳選し講習しています。

講師の方々には大変ご尽力をいただき、千葉県の造園に対する知識、技術向上を目指していただきたいと思います。

今後、造園技能士を受験される方は、ぜひとも講習会の受講をお勧め致します。